

見たこと  
ありますか？  
よく見る  
コバエ



名前：キノコバエ（蒼蠅）

- ・ 2～5 mm
- ・ 褐色
- ・ 蚊の仲間
- ・ 腐敗した植物質（プランター等）に発生。夜行性。茸の害虫。



名前：チョウバエ（蝶蠅）

- ・ 1～5 mm
- ・ 黒褐色
- ・ 蝶のようなハート形
- ・ 浴室、キッチンなどの汚物に発生。光に誘引される。



名前：ノミバエ（蚤蠅）

- ・ 1～4 mm
- ・ 黒褐色
- ・ 素早く走る
- ・ 腐敗した残飯や汚物に発生。光に誘引される。



名前：ショウジョウバエ（猩々蠅）

- ・ 1～4 mm
- ・ 赤褐色
- ・ 目が赤い
- ・ 飲み残しのジュース、酒、酢などアルコール臭に誘引される。

「コバエ話」あれこれ・・・

最近、家庭で「コバエ」が問題になっている。学問的には「コバエ」というハエの種類は存在しない。「コバエ」とは小さな蠅を意味する「小蠅」のことである。人によっては「小さな飛ぶ虫」を全てひっくるめて「コバエ」と呼ぶこともある。

日本のショウジョウバエの仲間だけでも300種近くもあり、ましてや「小さな飛ぶ虫」となると、蠅、蚊、蛾、蝶などを含めて数え切れない。「コバエ」という言い方はかなり大雑把でいい加減なのである。

なぜコバエが日本でこれほど問題になったのか？

\* 景気が悪くなったからかも知れない？ 共稼ぎが増えて主婦（主婦とは限らないが・・・）が忙しくなり、残飯を捨て忘れる・・・！

夏の暑い時期に、残飯やジュースの飲み残しを10日ほど放置すると、ショウジョウバエ、ノミバエなどが発生する。  
\* コンピュータや大画面液晶テレビなど発光する器具の普及が原因かも知れない。  
画面に虫が飛んできてうるさくて気になる！  
チョウバエ、ガなどは走光性があるから、画面に誘引される。

\* 家庭内に鉢植え、プランターを持ち込んだのが原因かも知れない。  
鉢植えの土壌からキノコバエなどが発生する。

\* 「虫嫌い症候群？」というが、虫に対して敏感な世代が増えたからともいえる。  
少なくとも60才以上の年代は大発生でもない限りコバエなど気にしない。

\* 今まで、コバエは家庭では殆ど目立たず、問題にならなかった。イエバエ、クロバエ、ギンバエなど外に大きなハエがいたからである。

今、それらが水洗トイレやクーラー、エアゾール殺虫剤の普及で殆どいなくなって、小さい「コバエ」が目立ち始めた・・・？

・・・という訳で家の中の「コバエ」が増え始めた。

家の中で問題になる「コバエ」は、種類も多くそれぞれ生態も発生場所も違うのである。主なものだけでも、ショウジョウバエ（猩々蠅）、チョウバエ（蝶蠅）、キノコバエ（蒼蠅）、ノミバエ（蚤蠅）、イガ（衣蛾）など多種多様である。当然、「コバエ」の防除法はそれぞれ違ってくる。それに「小さな虫」であるから素人には種類を見分けることは大変難しい。

本「コバエカカール」はコバエだけでなく、「小さな虫」を捕獲するために開発されたものである。試験したところ、飛ぶ虫だけでなく、小さなクモやシミ、イガなども捕獲された。本品は部屋の片隅に「さりげなく」置いて、予防的に使うと効果があると信ずるものである。皆さんに「いつの間にか」虫が取れていることを実感してもらえれば、開発者として誠に幸いである。

ただし、大発生した場合にはまず発生源を処理することが重要であり、時に殺虫剤を使用することも必要である。ただ、エアゾールを大量に撒き散らすのは賛成できない。下手をすれば「コバエ」の害より殺虫剤のほうが健康に良くない。

敬白